

科目名	社会福祉演習Ⅳ L					単位	2.0
担当教員	牧村 順一						
授業形態	演習	開講期間	後期	配当年次	4	授業番号	3249

●授業のテーマ

地域福祉活動推進の課題と方法

●到達目標

地域福祉についての的確な問題発見・分析能力を高め、地域特性の把握、地市分析の手法等を理解する。

●学習内容(授業概要)

地域福祉活動は、住民による日常的な交流・連携を基礎としながら、地域にある生活問題を緩和・解消する、住民が主体となって担われる活動をいう。演習参加者各自が自分の関心・テーマを持ち、実際に展開されている地域福祉活動に学びながら、その内容を理解し互いに論じ合うことで、これからの地域福祉及び社会福祉の展望と方法を見出していく。

●学習内容(授業計画)

《後期》

1. オリエンテーション テーマの絞り込み
2. 演習に共通するテーマをめぐる集団研究(1)大都市部における地域福祉問題
3. 演習に共通するテーマをめぐる集団研究(2)大都市周辺部・地方都市における地域福祉問題
4. 演習に共通するテーマをめぐる集団研究(3)中山間地における地域福祉問題
5. 地域社会と高齢者福祉問題(1)社会的孤立と高齢者
6. 地域社会と高齢者福祉問題(2)認知症高齢者
7. 地域社会と高齢者福祉問題(3)社会的孤立とコミュニティ
8. 地域社会と障害者福祉問題(1)社会的孤立と障害者
9. 地域社会と障害者福祉問題(2)地域社会と知的障害者
10. 地域社会と障害者福祉問題(3)地域社会と身体及び精神障害者
11. 地域社会と児童福祉問題(1)地域社会と児童
12. 地域社会と児童福祉問題(2)地域社会と児童虐待
13. 地域社会と貧困(1)大都市及びその周辺都市と貧困問題
14. 地域社会と貧困(2)中山間地と貧困問題
15. 後期のまとめ

●準備学習・事後学習の内容

毎回の授業のテーマごとに、自分の意見をまとめておく。授業後は、授業内容を確認するとともにテーマに沿って関連する領域についてもさらに調べておく。

●成績評価方法・基準

議論への参加状況(25%)

テーマ別の小レポート(25%)

発表及び内容（50%）

●テキスト（必携）
授業時に指示する

●参考文献／その他
授業時に指示する

●履修上の注意
所属地域社会の基礎的データをまとめた上で、議論に参加すること